

## 3大会連続となる男女総合成績8位以内入賞を目指して！！

### ～会期前②終了～男女総合成績、**現在 15 位！** TEAM 福岡、そして本会期へ！

10月1日（火）に会期前②が終了した。会期前②においては、サッカー競技少年男子の3位を皮切りに、剣道競技が少年女子優勝、少年男子2位、成年女子4位と競技別総合成績2位入賞を果たし、会期前②の合計として250点を獲得した。男女総合成績も会期前①終了時から9つ順位を上げ、**15位**の**462点**となっている。【表1参照】。

会期前競技終了時における本県の過去2大会の順位は、鹿児島大会（R5）16位、栃木大会（R4）13位であることから、男女総合成績8位入賞を十分に狙える位置にあると言える。また、本会期で実施される競技の、過去2大会における平均得点の合計は**964点**であるが、本県の目標点は**1500点**であることから、本会期競技で**1038点**を獲得し、3年連続の男女総合成績8位入賞を果たしたい。GO！TEAM 福岡！

順位	都道府県	得点	本県との得点差
1位	東京	1096.5	634.5
2位	埼玉	830	368
3位	大阪	821.5	359.5
4位	佐賀	775.5	313.5
5位	愛知	773.5	311.5
6位	北海道	739.5	277.5
7位	神奈川	711.5	249.5
8位	千葉	621	159
9位	長野	578.5	116.5
10位	滋賀	565.5	103.5
12位	兵庫	519	57
15位	福岡	462	-
19位	京都	436.5	-25.5

【表1：10/1 終了時点での男女総合成績順位】

### ～本会期に向けて～本県のライバル道府県及び来年開催県の滋賀の情報も要チェック！！

本県が男女総合成績8位以内入賞を目指す上で、毎年順位を争っているライバル道府県の動向が気になる。【表2】はライバル道府県である北海道、千葉県、兵庫県、京都府に加え、来年度の開催に向けて強化している滋賀県の本会期で実施される競技の過去2大会における得点から推定合計得点をまとめたものである。推定値ではあるが、本県推定値の1426点は鹿児島大会に当てはめると9位、栃木大会では8位と入賞のボーダーであることから推定値を大きく上回る活躍に期待したい。

	栃木大会	鹿児島大会	2大会平均	推定合計得点
北海道	592	564	578	1318
千葉	938.25	844.5	891	1512
兵庫	726	805	766	1285
京都	836	891	864	1300
滋賀	724	748.5	736	1302
福岡	909.5	1019	964	1426

【表2：ライバル道府県の過去2大会の状況と推定合計得点】

### 会期前から本会期へ出場する皆様へ **言葉の糧**をつなぐ！がんばれ **TEAM 福岡**！

これから大会に挑む監督・選手が奮起できるよう会期前競技に出場した監督・選手からこれまでの取組やメッセージをいただきました。この言葉の糧が「TEAM チーム福岡」の大きな後押しとなることを期待します。

#### これから本会期に挑む皆様へのメッセージ

剣道少年女子 岩城 規彦 監督（中村学園女子高校（教））

「高校生活最後となる大会なので、**自分の力を出し切ることに集中**して頑張ってください。」

剣道少年男子 森 大樹 監督（福大大濠高校（教））

「熱い戦いを期待しています。**心から応援します**。頑張ってください。」

ソフトテニス成年女子 原野 湊 選手（福岡大学）

「仲間がいるから全力で戦うこと。**一人じゃない！**」

#### 試合に挑んだときの気持ち

サッカー少年男子 藤江 智規 監督（北九州市立足立中学校（教））

「チーム発足時から『**献身・誠実・感謝**』をテーマに掲げ、試合の中はもちろん、ピッチ外でも選手に求め続けた。」

剣道少年女子 橋本 陽菜 選手（中村学園女子高校）

「国スポは、今まで**ライバルだった選手と協力し認め合い試合に臨む**ことが勝つためにとても重要だと思います。」

剣道少年女子 菊池 京花 選手（福翔高校）

「仲間を信じて戦った結果、高校時代**最高の形で終わる**ことができた。関係者の方々に感謝しています。」

剣道少年男子 関 慶太郎 選手（福大大濠高校）

「**福岡県を背負って戦える**ことに感謝し、自信を持って戦いました。」

